第２回　社会福祉法人希望園　共同生活援助事業　地域連携推進会議　会議録

今回、共同生活援助事業における第２回目の会議を、４ホームを所在地区ごとに分け、下記の共通テーマと議題で３回開催し、各会議の様子をまとめた。

◇◇　第２回会議のテーマ　～「共に生き　共に創る」共生社会の実現に向けて～　◇◇

◇◇　議　題　◇◇

１）共同生活援助事業（グループホーム）を理解する
２）地域関係者と顔の見える関係作り（総会や社会奉仕活動に参加して）
３）地域課題の共有と課題解決に向けた取り組み

◇◇　各会議の日程及び参加者　◇◇

【グループホームのぞみ・ふるさと】
令和８年９月29日(火)
10:00～　園東棟２階会議室にて紹介と意見交換
11:00～　のぞみ・ふるさと見学
11:30　　終了
参加者：仲間（1名)、仲間の保護者（1名)、近隣障害者施設の代表者（セルプあすなろ２名)、地区福祉委員（西里区１名)、大野市福祉課担当者（1名)、希望園（副施設長・土肥知博、共同生活援助サービス管理責任者・松田智恵）

【グループホームいずみ】
令和８年９月29日(火)
14:00～　いずみホーム見学
14:10～　食堂にて紹介と意見交換
15:00　　終了
参加者：仲間（1名)、仲間の補助人（1名)、近隣障害者施設の代表者（むつみ園１名)、地区福祉委員（篠座区１名)、大野市福祉課担当者（1名)、希望園（副施設長・土肥知博、共同生活援助サービス管理責任者・松田智恵）

【グループホームあゆみ】
令和８年９月30日(水)
10:00～　あゆみホーム見学
10:10～　食堂にて紹介と意見交換

11:10　　終了
参加者：仲間（1 名）、仲間の後見人代理（1 名）、近隣障害者施設代表者（紫水の郷 1 名）、地区福祉員（春日 2 丁目東区 1 名）、大野市福祉課担当者（1 名）、希望園（副施設長・土肥知博、共同生活援助サービス管理責任者・松田智恵）

議題 1）共同生活援助事業（グループホーム）を理解する
【法人基本理念と展開している事業の紹介】

法人理念
共に生き共に創る
～希望に満ちた共生社会を目指して～

希望園の目指すもの（ＰＵＲＰＯＳＥ）

（1）本当の地域共生社会を創ること
（2）仲間の夢や希望を実現すること
（3）わたしたちの毎日がＳＰＥＣＩＡＬ　ＤＡＹ
（4）チャレンジする気持ちを大切に地域貢献すること

・障害者支援施設　希望園（施設入所、生活介護、短期入所、日中一時支援）
・多機能型事業所　ほっと（就労継続支援 B 型、生活介護、日中一時支援）
・相談支援　希望園（指定相談支援事業）
・グループホームあゆみ、いずみ、のぞみ、ふるさと
　（共同生活援助事業介護サービス包括型）

【グループホーム紹介】
「地域で暮らしたいけど一人で生活するのは不安。」
「介護が必要な面もあるが、施設に入らず地域で暮らしたい。」
　18 歳以上でハンディを示す手帳等（療育・身体・精神・難病）があり、障害支援区分の認定を受け、出身市町の許可が得られれば、体験を経て利用できます。
　地域の中で少人数のアットホームな生活を介護サービス包括型（当法人職員が介護サービスを提供）でサポートしています。

＜食事の提供＞
栄養バランスを考えヨシケイを利用。毎日世話人が朝食・夕食の準備をします。
＜健康管理・必要に応じた介護＞
医療機関と連携しながら、グループホーム担当職員や世話人が日々の体調を確認し必要に

応じた介護等を行い、健康管理に努めます。
＜日常生活場面における相談・援助＞
仕事での悩みごとや、日々の困りごとなど、グループホーム担当職員や世話人が相談に応じます。

世話人勤務時間：6 時 30 分～8 時 30 分、15 時 30 分～19 時 30 分
（2～3 人交代体制で毎日勤務）
担当職員勤務時間：8 時 30 分～17 時 15 分（月・水・木）、11 時～19 時 45 分（火・金）
※土日祝日は休み　ただし必要に応じ緊急対応可能
生活支援員勤務時間：15 時 30 分～17 時（月～金）※兼務

【日中活動事業所】
◆のぞみホームは女性 4 名が暮らし、下記の事業所等へ日中通っています。
・希望園　・一般就労　・和光園
◆ふるさとホームは男性 3 名が暮らし、下記の事業所等へ日中通っています。
・希望園　ほっと　・STEP
◆いずみホームは女性 6 名が暮らし、下記の事業所等へ日中通っています。
・セルプあすなろ　・希望園　ほっと
◆あゆみホームは女性 4 名が暮らし、下記の事業所へ日中通っています。
・つぐみ福祉会　・セルプあすなろ　・希望園　ほっと

【地域との交流】
・休日は市内のスーパーやドラッグストアへ昼食等の買物に出掛け、外出を好まない人はアサヒフードの昼食宅配を利用しています。
・市内の行事や祭りに出掛けます。
・職員の付き添いまたは自分で自転車等を使って病院へ通っています。
・描いた絵を市内の喫茶店に飾ってもらっています。
・公共交通機関を利用し、あっ宝んどへ行きます。
・毎月開催される、さくら会（本人の会）の活動に希望者は参加しています。

【防災対策】
・災害と感染の各ＢＣＰ計画のもと、各災害と感染を想定した訓練を実施
避難訓練（地震、火災）　感染拡大防止と対応訓練　年 2～3 回実施
（あゆみホームは水害想定避難訓練を年 1 回実施）

議題２）地域関係者と顔の見える関係作り（総会や社会奉仕活動に参加して）

今年は、地域のみなさんとあいさつを交わせる機会を増やそうと、ホーム前で花の栽培をおこなっています。昨年から、火災想定避難訓練では近隣宅へ助けを求めることに取り組んでおり、ご協力に感謝いたします。今後も、夜間は仲間のみなさんだけになるので、緊急時、職員が駆け付けるまでのあいだ、助けてもらいたいです。

【のぞみホーム・ふるさとホーム】

西里区に設立して、希望園本体は約 50 年、のぞみホームは約 30 年、ふるさとホームは 15 年を超えました。総会に参加して、西里区で温かく受け入れていただき今があることを実感しました。規模は小さくなりましたが、秋祭りなどを通して交流が続いています。社会奉仕活動もホーム周辺だけですが、仲間のみなさんと草取りやゴミ拾いをしました。

～ご意見～

・**仲間の保護者：**家庭の事情で一緒にいれず、ホームで暮らせていて助かっています。
本人がやりたいことも叶えてもらいよかったと思います。
今後も年 1～2 回外出等の要望を叶えてあげたいです。
→これまで、ご本人からのやりたいこと、行きたいところへの要望がほとんどなかったので、今回、叶えることができてよかったです。

・**仲間：**ディズニーオンアイスのショーを見に行けて楽しかった。
→また、行きたいところややりたいことがあったら教えてください。

・**福祉委員：**犬の散歩でホーム付近を通った時に、それまでは挨拶だけだった利用者と、犬の話題で会話ができました。ホームへ帰るときだと思うのですが、見かけると手を振ってくれる利用者がいて、あたたかい気持ちになります。最近、希望園の行事が減り交流もないので、外で見かけても職員か利用者わからず、話しかけにくいし、何をしているかがわからないです。
→新型コロナ感染後、仲間の高齢化も重なり外へ出る機会が減っています。畑作業などを再開し、できるだけ外へ出て活動したいと思います。

・**市福祉課：**ホームのみなさんが自由に活動し、地域とオープンにつながっていると感じました。
→秋まつりを開催しますので、ぜひ、お越し下さい。

【いずみホーム】

以前は泉町にあったホームが篠座区に移転して約 10 年。総会に参加させていただき、篠座区 12 班の世帯の多さに驚きました。いずみホームは 10 班の中でも住宅が隣接していな

いので、総会で 10 班のみなさんにいずみホームを紹介できてよかったです。社会奉仕活動には日程調整ができず参加できませんでした。

～ご意見～

・**むつみ園：**広くて、2 階にもトイレと洗濯機、汚物洗浄槽があって良いと思います。
避難訓練時も地域宅へ助けを求める機会をもつことは大切だと思います。
→女性 6 名が暮らしていますが、トイレや洗濯機が混みあわないのでトラブルは少ないです。避難訓練も職員が駆け付けるまでのタイムラグで被害が広がらないように、仲間のみなさんでできることをやってもらおうと思っています。

・**仲間の補助人：**火災等の非常事態時の対応について詳しく教えてください。
→1 階にある非常ボタンを押すと、消防署等へ直接はつながらず、希望園とサービス管理責任者、防火防災担当者に通報があります。希望園で通報を受けた職員が火災の場合、消防署へ通報ののち、各管理者に通報があったことを連絡します。同時進行でサービス管理責任者と防火防犯担当者は、ホームに駆け付け対応します。

【あゆみホーム】

春日 2 丁目東区にホームを設立して 25 年が過ぎました。総会に参加させていただき、春日 2 丁目東区の皆さまに温かく見守っていただけ今があることを実感しました。男性の仲間が長く居住していましたが 2 年前に女性のホームになり、多くの方から男性の仲間を懐かしむ言葉をかけていただきました。また、社会奉仕活動で草取りの場所や手順を優しく教えてもらえました。

～ご意見～

・**福祉委員：**10 月 18 日には町内レクリエーションがおこなわれるので、ご参加ください。
→仲間 2 名、付添 1 名で申し込ませてもらいました。楽しみにしています。

・**紫水の郷：**ヨシケイ利用についてもう少し教えてもらいたいです。
→世話人さんの負担は軽減されましたが提供される食材の偏りがあり、時にはヨシケイを注文せず、仲間のリクエストメニューを取り入れてマンネリ化を防いでいます。

・**仲間の後見人代理：**仲間への手厚い支援に感謝しています。できることがあれば教えてください。
→余暇支援や個人の電化製品購入に必要な費用を事前説明させていただくので用立ててもらいたいです。

議題３）地域課題の共有と課題解決に向けた取り組み

【のぞみホーム・ふるさとホーム】

松田：第 1 回の会議で西里区の総会の会場について提案をいただき、希望園相談棟 2 階で開催いたしました。西里区も世帯数が減り 7 月の社会奉仕作業の溝掃除では薬をまくだけでした。

福祉委員：自宅前の側溝は水が流れず、生活排水がとどまっており臭いもして草が生え、虫がわくので、定期的に薬をまき掃除はできていないです。冬に雪を捨てているが、流れないので落としているだけです。20 年ほど前の福井豪雨では側溝も水があふれましたが、8 月 30 日の大雨では、あふれるまでの水量はありませんでした。

仲間の保護者：側溝のことは大野市の建設課に問い合わせるとよいと思います。

セルプあすなろ：子どもは少なく、西里と篠座の子どもたちが一緒に集団登校しています。側溝は雪を詰めるだけになっていて雪下ろしは専門にやっている業者に依頼しているところが増えているそうです。一人暮らしが増えていて、8 月 30 日の大雨時、当グループホームの利用者は下庄公民館に避難したが、近所の人もいっしょに避難できるとよかったかも。助け合いができるとよいと思います。

松田：来年度も総会の会場として希望園相談棟 2 階を利用していただき、7 月の社会奉仕作業もお手伝いしたいと思います。

【いずみホーム】

松田：第 1 回の会議で、篠座区に新しい世帯が増えて世代の差が生じ、以前のような町内の輪が広がっていかないことによるさまざまな課題があるとうかがいました。また、8 月 30 日未明からの大雨で大雨特別警報が出され、あゆみホームに続き、3 時 45 分頃いずみホームのメンバーも本体施設に避難しました。みなさんはどうされましたか。

福祉委員：篠座区の神社側で生まれ育ち、福祉委員も今年度からで 75 歳以上の二人暮らし世帯は訪問しています。新しい世帯のことはよくわかっていません。8 月 30 日の大雨の影響はそれほど大きくなかったです。

市福祉課：大野市内在住の福祉課職員も招集をうけ、福祉避難所開設等に携わりました。

仲間：急に避難になってびっくりしました。いつホームへ戻れるのかわからなくて心配でした。

仲間の補助人：住まいは丸岡町で自宅の被害はありませんでしたが、浸水被害を受けた地区がありました。

むつみ園：各グループホームへ確認に行き、3 時に垂直避難してもらいました。利用者が避難所という未知の場所へスムーズに移動できるように、『避難所体験』という訓練の機会を設けてもらえるとありがたいです。

【あゆみホーム】

松田：第 1 回の会議で回覧板がまわるようお願いしたところ、さっそく回覧板やお便りをいただけました。ありがとうございます。8 月 30 日未明からの大雨で大雨特別警報が出され、3 時 30 分頃あゆみホームのメンバーは本体施設に避難しました。みなさんはどうされましたか。

紫水の郷：山に近いグループホームでは大雨で土砂災害が心配で電話をしましたが、誰も出ず、携帯電話を持っている人もいないので、垂直避難していることを期待して朝に迎えに行くと、利用者は朝まで外の状況を知らずにいました。朝から昼まで本体へ避難をしてもらいました。今後、情報伝達手段の見直しが課題です。自宅は浸水被害をうけました。床下浸水で床下の乾燥など後の処理は大変でした。見舞金等の支給がわずかで、気持ちが暗くなってしまいました。

福祉委員：自宅はここから少し離れたところにあり大雨の影響はなかったです。ホームのある、この辺りは雪で川の水があふれ溜まることはありますが、浸水したことはないです。

市福祉課：福祉課は福祉避難所の開設に備えたり、支援が必要な事業所の確認をおこなったりしました。現在、福祉避難所は保健センター、むつみ園、大野荘、ビハーラ大野、和光園、聖和園、ほほえみネットワークさくら、県民せいきょう大野きらめき、希望園です。今後、まずは『自助、共助』日頃の訓練が大切だと思います。

土肥：希望園は福祉避難所になっています。すぐに動けるように危機感をもって訓練を徹底的におこないます。

仲間の後見人代理：20 年前の豪雨で自宅は被害をうけ、今回も 2 階へ垂直避難をしました。現在、事務所が開設していないと連絡ができないシステムで、8 月 30 日の仲間の安否確認も後日になってしまいました。今後、災害等緊急時に後見人と連絡ができるよう検討中です。

～おわりに～

　ご参加いただいた皆さまのお力添えのおかげで当会議を開催できたこと、深く感謝いたします。私たちがもっと地域とつながり、グループホームを取り巻く地域の課題を知っていきたいと思いました。ありがとうございました。